



おおさきかみじま  
**議会**だより

9月定例会	2
平成31年度決算認定	3
監査委員報告	4・5
7議員が一般質問	6～13
委員会報告	14～15
あれから・編集後記	16

**令和2年9月定例会**  
第70号/2020年10月16日

# 第3回定例会(9月議会)

## 決まった主なこと

- ・人権擁護委員の推薦  
恵良 隆久氏
- ・令和2年度大崎上島町一般会計補正予算(第5号)
- ・令和2年度大崎上島町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)  
他8特別会計
- ・令和2年度大崎上島町水道事業会計補正予算(第3号)
- ・工事請負契約の締結
- ・平成31年度大崎上島町一般会計 他11会計 歳入歳出決算認定
- ・地方財政の充実・強化を求める意見書
- ・新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し  
地方税財源の確保を求める意見書

# 第3回臨時会(6月23日議会)

- ・令和2年度大崎上島町一般会計補正予算(第4号)
- ・令和2年度大崎上島町水道事業会計補正予算(第2号)



スマホやタブレットに無料アプリ「マチイロ」をインストールすることで、いつでもどこでも議会だよりを読むことができます。ぜひ、ご利用ください。  
(※議会だよりは定例会後の発行のため年4回です。)



ios



android



## 平成31年度一般会計

歳入（財源）	69億4204万円
歳出（使いみち）	67億5794万円
繰越金	1億8411万円
実質収支	9064万円

\*単位：千円以下切捨て。  
万円単位で計算しているため、合計が一致しないことがあります。

# 平成31年度 決算認定

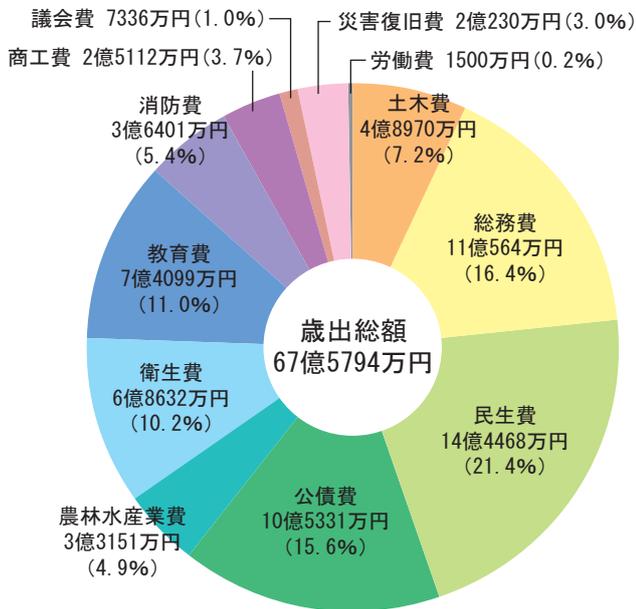
9月定例会において決算特別委員会に付託

## 平成31年度決算のあらまし

- 歳出決算 一般会計は67億5794万円でした。
- 歳入決算は歳出決算を上回る69億4204万円となりました。

## 〈一般会計のなかみ〉

町の予算はこのように使われました



## 特別会計

会計名	歳入	歳出
国民健康保険事業	10億8797万円	10億8723万円
介護保険事業	15億1685万円	14億4761万円
後期高齢者医療保険事業	1億7048万円	1億6921万円
公共下水道事業	1億4220万円	1億4209万円
農業集落排水事業	3792万円	3782万円
漁業集落排水事業	7504万円	7502万円
港湾管理	1992万円	1989万円
漁港管理	327万円	323万円
交通事業	1億215万円	1億183万円
干拓地管理	1561万円	1560万円
合計	31億7141万円	30億9953万円

## 水道事業会計

	収入	支出
収益的収支	5億2496万円	4億9730万円
資本的収支	1億750万円	1億1279万円

## 決算特別委員会報告

平成31年度決算認定される（9月定例会において決算特別委員会に付託）

決算特別委員会で審議した結果、全般的には概ね妥当と思われる。普通交付税が合併算定替により平成31年度以降は、合併前比で3億円の減額となる見込みで、また町税等の自主財源も景気後退、人口減少、高齢化等により減少推移が続いており厳しい財政運営となっている。特に、現在、国、県においては新型コロナウイルス感染症拡大に伴う対策に大きな予算の計上が行われ、歳出が拡大しており、歳入も経済活動の停滞により税収が大きく落ち込むものと思われる。今後の国、県の財政運営も厳しく、補助金等の支援の削減も懸念される。そのため、今後、従来にも増して、財源の確保及び歳出の削減に取り組み、財政運営を安定させることが必要である。

また、新ゴミ処理施設整備に伴う広島中央環境衛生組合の負担金、防災無線等の維持管理費等大規模事業への支出が今後も続くもので、そのため、公債費が増加し、公債費比率等の財政諸費率が上昇することが懸念されるので、既存の事業、補助金、委託料、使用料などを再検討し、無駄を省く施策も必要となる。

一方、広島観智学園の開校による、生徒、職員の増加や、学校施設等の整備推進も見込み、また、経済産業省の施策でカーボンリサイクル技術における実証研究の拠点として、本町の長島地区が選ばれ、今後、技術開発に着手されれば、拠点作りのための工事関係者の増加も見込み、島内経済の活性化も期待できる。

それらを活用した、産業振興・定住推進等を図るための効果のある事業を推進して地域経済の活性化を図って頂きたい。

決算特別委員会委員

委員長  
副委員長  
委員

尾尻康二  
水橋直行  
関田大祐  
森若 巖  
浜田幸造  
渡辺年範

# 平成31年度決算に基づく健全化判断比率及び 資金不足比率報告書

区 分	実質公債費 比 率	将来負担 比 率
31年度決算健全化判断比率	12.7	—
30年度決算健全化判断比率	10.1	—
(早期健全化基準)	(25.0)	(350.0)
(財政再建基準)	(35.0)	—

※将来負担額より充当可能財源等が多い場合は「—」を記載している。

## ■実質公債費比率

町の標準財政規模に占める借金返済額を示す比率。18%を超えると、起債（借金）の際に知事の許可が必要となり、25%を超えると早期健全化が求められる団体となる。

## ■将来負担比率

市町村が将来返済しなければならない負債の標準財政規模に対する割合を示した率。350%を超えると早期健全化が求められる団体となる。

## 審査意見書

### (1) 健全化判断比率

平成31年度の健全化判断比率は、全てにおいて早期健全化基準を下回っているが、一般会計等が将来負担すべき地方債等の実質的な負債の標準財政規模に占める割合を表す実質公債費比率の単年度においては、大きく悪化している。

これまで、実質公債費負担の適正な管理を図るために繰上償還を行い、また将来における負担の増加に対応するため財政調整基金の積み立てを行うなど、財政の健全性を維持されている。

### (2) 資金不足比率

平成31年度はすべての会計において、資金不足が生じていないが、水道事業会計においては、一般会計からの補助金による財政支援が行われ、他の法非適用企業では一般会計からの繰入金による財源補てんが行われている状況にある。

今後も財政の健全性の確保に努めていただき、各会計においては収入の確保に努めるとともに、経費の削減、業務の効率化を図り、採算性の向上を目指した事業運営を行ってください。

大崎上島町監査委員

## 平成31年度一般会計及び各特別会計歳入歳出決算審査意見書

令和2年7月29日から8月4日まで、5日間にわたり平成31年度大崎上島町一般会計決算、各特別会計決算及び関係書類等について審査しました。

### ○決算の結果および意見

#### (要旨)

審査に付された一般会計及び各特別会計の歳入歳出決算書は、関係法令に準拠して作成されており、その計数は関係諸帳簿その他証書類と照合した結果誤りのないものと認めた。また、予算の執行及び関連する事務の処理は、適正に行われているものと認めた。

町税の収納率は、平成31年度も98.2%と、依然高い水準にあり、担当課による債権差押等の未収金回収の取り組みと実績は高く評価できます。

滞納整理回収、債権確保そして現年度分未納の防止には、これまでの担当課の取り組みにあわせて、大崎上島町債権確保対策委員会での新次元の具体的な取り組みの先導を期待します。

補助金交付、事業委託にあたっては、各規則の手続きに則るとともに、事業の目的、効果及びコストバランスを評価検証され、事業の見直し、廃止を踏まえた適正な計画と執行に努めてください。

自然災害やコロナ禍などにより、これまでは考えもしなかったことが現実起こっています。国家財政では、すでに年間予算の50%を大幅に超える規模での、新たな財政支出が避けられない事態となっています。コロナ感染対応による経済の後退を考慮すると、これまでの歳入が見込めない中での歳出の激増になります。

当町においては、継続事業とあわせ、新規事業の取り組みにより、具体的な成果が表れていますが、財政状況は、健全な水準内を保っているとはいえ、限界に近い状態にあると言えます。

予想だにしない現実を目の当たりにする今日の状況では、柔軟な財政構造を確保、保持しておく必要があります。

そのためには、経年による硬直が懸念される事業、長年の継続事業、成果を上げ始めた新しい事業等も含めて聖域を設けず、今日的視点で、そのコスト、成果の質と量、事業の目的を検証し「縮小か拡大か」「廃止か強化か」「退却か転換か」の大胆な見直しが求められています。

前例踏襲から変革主導の組織風土への展開を図り、限られた資源の再配分の可動域を増幅しながら不測の事態にも備える、柔軟な行財政運営を実現されるよう要望します。

以上を決算審査意見書とする。

大崎上島町監査委員

澤田 武義  
道林 清隆

## 平成31年度水道事業会計決算審査意見書

令和2年7月29日から8月4日まで、5日間にわたり平成31年度大崎上島町水道事業会計決算及び関係書類等について審査しました。

### ○決算の結果および意見

#### (要旨)

審査に付された水道事業会計決算書は、関係法令に準拠して作成されており、その計数は関係諸帳簿その他証書類と照合した結果誤りのないものと認めた。また、予算の執行及び関連する事務の処理は、適正に行われているものと認めた。

給水状況については、前年度と比べて給水人口は7,278人で74人減少し、年間有収水量は49千 $\text{m}^3$ (4.2%)増加した1,233千 $\text{m}^3$ となっている。給水収益は2億8203万円で、前年度に比べて1140万円(4.2%)増加している。

以上のように、当年度の運営状況は、一定の純利益が確保され、経常収益の経常費用に対する割合である経常収支比率も105.0%となっていますが、その要因は、一般会計からの補助金(4068万円)です。

また、有収率は、前年度に比べて0.8ポイント悪化の83.4%となっており、現在、努力している漏水調査等を加速・強化して低有収率の原因を把握し、早期の改善に努めてください。

現在、設置されている「大崎上島町上下水道経営審議会」においては、費用に対する受益者の負担について十分検討されて、効率的な経営改善を要望します。

今後とも、水道水の安定した供給と安全で良質な水質の維持など、住民生活に欠かすことのできないライフラインとして、持続可能な経営基盤の確立に努められるよう望みます。

以上を決算審査意見書とする。

大崎上島町監査委員

澤田 武義  
道林 清隆

# 一般質問

## 町政を問う

7人の議員が16項目を質問



うえあおき いたる 議員  
上青木 至 議員

### 質問【上青木議員】

町内の県道拡幅について現在、大田地区は改善し、沖浦地区では改良工事が進んでいる。いまだに狭隘なところが多くあり、交通安全上に不安がある。東野地区古江・矢弓、木江地区旧小学校・明石地区で所によつては二十数年も経過しているが、県や町の具体的な取組と改善時期は。

### 答弁【建設課長】

古江地区は、地権者の反対で買収は困難。矢弓地区は、歩道設置要望を行い、ルートを検討し、5年をめどに完了したい。

木江地区は、今年度用地取得を行い、明石地区は現在8割の用地取得を完了。

### 問

## 県道拡張工事の進捗は

答 県と協議し改善

地元地権者等の協力体制を得て事業を推進する。

### 問

## 白水防波堤修復は

答 応札がないが  
県と協議し改修

### 質問【上青木議員】

数年前から白水港の防波堤が崩壊して、いまだ改修していない。町の玄関口でもあるし、美観が損なわれており、これ以上破損すると膨大な経費が掛かると思われる。美観や船舶の安全性を考えて早急に改善すべきではないか。

### 答弁【建設課長】

平成31年10月に入札をしたが災害復旧工事の増大等



崩壊している白水港の防波堤

### 問

## 町の土砂処分場確保は

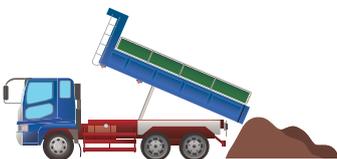
答 新たに処分場を検討

### 質問【上青木議員】

3月議会で町の土砂処分場があと数年で満杯になり、あと何年対応できるのか。との私の問いに、総務企画課長は、早急に民間を含め確保したいという答弁だった。現時点であと何m受入れができるのか、処分地確保と取組は。

### 答弁【総務企画課長】

県道改良工事での残土受け入れ可能数量が6,700m<sup>3</sup>と町の処分場1,700m<sup>3</sup>。災害での残土処分など想定されるので、新たな処分地を検討する。



問

学校の空調対策は

答

指示が悪く温度が下がらなかった

再質問【上青木議員】

このデマンドを認識していない校長がいたが、どうなっているのか。

再答弁【教育課長】

理解ができていない校長がいたのは事実。エアコンの対応が遅れた学校もあった。

再々質問【上青木議員】

8月の段階でエアコンが故障したり、現在部品がないから発注したりしているというのはおかしい。なぜ暑くなる前に定期点検を行わなかったのか。

答弁【教育課長】

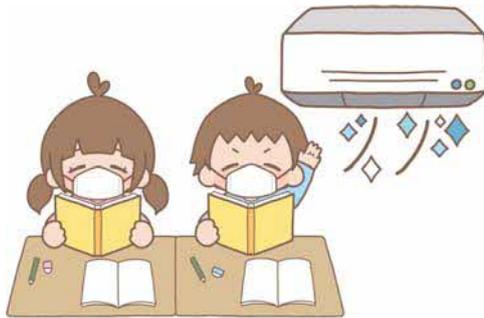
電気代を抑制するため、制度（デマンド値）により電力制限をかけたいため、すべての小・中学校で一時期エアコンの温度が下がらないことがあった。扇風機を追加で購入しデマンド値の制限を調整した。また、教室の2方向の窓を同時に少し開け常時換気をしている。

再々質問【上青木議員】

昨年デマンドのブザーが鳴った回数。また、今年は何回鳴ったのか。全国ではミストを使用して空気を冷やしているが導入を検討すべきでは。

再々答弁【教育課長】

ブザーの件数は把握していない。



問

マイナンバーカード普及の問題点は

答

制度の周知に努める

質問【前田議員】

マイナンバーカードには税・年金の情報や病歴などが記録されず、それらの情報はカードからは判明しないと伺う。記録される情報は券面に記載される情報や公的個人認証の電子証明書等に限られるが特定個人情報等の保護など町民には不安がある。普及にどのような取り組みなのか。

答弁【住民課長】

これまで町広報その他で周知に努めてきた。普及の問題点だが、個人情報漏洩への警戒感、メリットの少なさ、申請手続きの煩雑さなど高齢者を中心に制度への不安や必要性を感じていないことがあると考える。



今後健康保険証としての利用が可能になることも踏まえ、制度を正しく理解して頂くためマイナンバーカード、マイナポイント事業の周知を図り、住民が不安を抱くことがないように努める。



わたなべ としのり  
渡辺 年範 議員

**問**  
島スクールの  
開校状況は

**答**  
おおむね良好  
である

**問**  
小中学校のカリキュラムの進行状況は

**答**  
おおむね達成できている

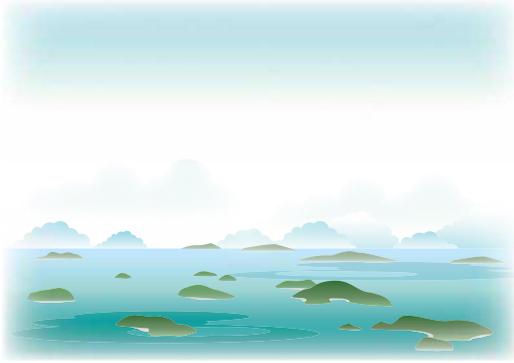
**質問【渡辺議員】**

教育の鳥構想の一環として8月9日、11日に開催された鳥スクールの状況について問う。

**答弁【総務企画課長】**

2日間で、参加人数は25人で、小学生から50代の大人の参加があった。男女の比率は男性16名女性9名であった。

コロナの影響で、講師は東京からオンラインでの講義を行った。初回なので、パソコンの画面を通しての自己紹介や緊張を和らげ、コミュニケーションを円滑にし、相互理解を深めるためのアイスブレイクなどを行った。



参加者からは、おおむね良好の評価であった。

今後は、月1回のペースで行い、後8回行う予定である。必要性があればさらに続けたい。

**質問【渡辺議員】**

コロナのため変則的な授業になつていと思うが伺う。

- ①教室にエアコンは完備されているのか。
- ②予定通り授業は進んでいるのか。
- ③運動会、文化祭、修学旅行のイベントは行うのか。
- ④オンライン授業の設定が前倒しで行われるが、危惧される点は。

**答弁【教育課長】**

エアコンは、普通教室ですべて設置しており、3つの小学校で特別教室の8教室には設置されていない。

授業については、夏休みなどを短縮して一学期の授業計画はおおむね達成できている。

運動会、文化祭のイベントは、3密の回避が困難との判断で中止が決まっている。修学旅行は実施する方向で、時期、場所の見直しで調整している。

オンライン授業については、1人1台のタブレット端末を考えている。

問題点として、教える側の教員の技術向上が必要である。また、画面のフリーズなどの速度の問題は、9月定例議会で予算化しているので対応できる。

小中学校においては、対面授業が大切なので、オンライン使用の場面は長期休暇、臨時休業など学校へ行けない場合の補足として活用したい。





かんた だいすけ 議員  
閑田 大祐

**問**  
災害復旧の  
進捗は

**答**

今年度中に  
完了する

**問**  
行政の組織体制の見直しを

**答**

時代に即した組織体制を作りたい

**質問【閑田議員】**

今年度は熊本県で大規模な災害が発生した。本町でも数や被害自体は少ないものの土砂崩れなどが発生し、避難情報等も発令された。過去の統計に基づき治山、治水の対策等が行われてきたが、近年の温暖化等の影響による災害の大規模化は統計情報が当てにならない時代に突入していることを示している。

そこで今年度の災害の発生件数、およびその復旧見込み、そして災害が懸念される地域について次の時代をにらんで安全・安心をどのように担保していくのか伺う。

**答弁【建設課長】**

今年7月の梅雨前線豪雨による災害発生件数は住家の床下浸水が4件、土砂崩れ20件、路肩崩壊3件、道路の陥没1件、水路の埋塞13件、倒木8件。道路、水路等の清掃等機能復旧工事はほぼ完了している。大崎地区の町道、不動根田尾線については災害復旧事業として9月補正予算に計上しており、令和3年3月末までに本復旧工事を完成させる予定。災害対応としては急傾斜地崩壊対策事業、海岸保全事業、砂防事業等は今まで以上に継続して推進する。



**質問【閑田議員】**

職員数の不足から平成28年に役場の組織改革が行われ現在の組織体制となっているが、職員数の不足は改善されず、また時代の変化により地方行政の役割は増え、職員が疲弊しているように感じる。近年は採用職員数も増やし、改善に向けた努力はされているが、職員数は横ばいで横の連携や課内での情報共有、職員の能力向上など様々な場面で課題も見える。なるべく早く平成28年度以前の体制に戻すべきだ。

農業は町の基幹産業であると言いつながら本町に農林水産課はない。運営していくために必要な税を所管するのは税務課であるべきだ。これらをこれから何年かけて、どのように解消してい

くつもりなのか。

**答弁【副町長】**

第2次大崎上島町行政改革推進計画において平成29年4月1日現在で再任用職員を含めて110人とすべく努めてきた。また、平成28年度には簡素で効率的な行政運営と組織の目標到達度を高め、重要施策の一層の推進等を図るための組織体制とするための組織再編強化を行った。

平成27年度から昨年度までは職員数が110人を下回った状況となり、臨時的に事務嘱託員の採用により職員数の不足を補ってきた。

今年度については、職員数が109名、会計年度任用職員10名の体制となっており、職員数が大きく不足しているとは考えていない。

**答弁【町長】**

行政のデジタル化ということが今言われているが、そういったことにも取組ながら組織体制をしっかりとっていくというのは大変重要だと思っている。これからの時代に即した組織体制を作りたい。



尾尻 康二 議員

**問** 瀬戸内グローバルアカデミー校の支援体制は

**答** ふるさと納税の指定寄付と町の空き施設の利用を検討し、支援を行う

**質問【尾尻議員】**

アメリカにあるアトランティック大学との連携教育機関である「瀬戸内グローバルアカデミー校」が4月から開校となった。一般社団法人オーストが運営母体で当町はふるさと納税基金に特別枠を設け支援を続け、開校に大きな役割を担った。コロナ禍の中、第一期生は3名の入学で少人数となり、学校運営も厳しい状況にあると思う。現在の学校の体制、学生生活、授業内容、学校運営の現状と、今後の町の支援継続について伺いたい。

**答弁【総務企画課長】**

当校は学校法人では

なく、一般社団法人オーストが設立し、運営する私塾で、沖浦地区にある旧ペンションを活用し、開校した。学生生活は、4月から3名の学生が全国から集まり、共同生活を行い、島特有の仕事にも携わり、大きな学びを得ているとのことである。授業内容は、4月から8月まで集中的に英語を学び、9月から来年8月まで専門家によるアトランティック大学認定科目の授業を受ける。

学校運営は、町は関与しておらず、オーストの顧問、理事、幹事の責任により、運営方針を定めて運営している。

今後の町の支援は、現時点では当校の設立、運営に關してはふるさと納税の指定寄付を財源とした支出以

**問** 町道の改修要望

**答** 修繕は必要  
優先順位をつけ計画的に進める

**質問【尾尻議員】**

海星高校の奥にある本郷区の農地集積地を縦断する町道は生活道、農道として利用されているが、道路幅が狭く、道路面、道路敷の老朽化による損傷が激しく改修が急務となっている。現在、有害鳥獣対策のモ

**答弁【地域経営課長】**  
レモン団地の畑地帯総合整備事業で整備する場合は8割以上若い担い手に農地を譲ることを検討しなければならぬ。地権者又は営農者との調整が必要となるので、検討したい。

**答弁【建設課長】**

道路幅員は余裕はないが、車両の通行は可能である。道路面は傷んでおり、修繕が必要と認識しているが、優先順位をつけて計画的に進める。

**再質問【尾尻議員】**

同校は、アトランティック大学の科目を1年間学んで、同大学の2年に編入するため、1年間学生を預かる私塾という体制なのか。また、1年ごとに学生を募集することになるが、町の支援体制は。

**再答弁【総務企画課長】**

そういう体制である。今年度は3名の入学で学校運営に苦労しているが、来年度に向けた生徒募集のため、8月にオープンキャンパスをオンラインにより3回実施し、今後も月1回は行う予定である。来年度、生徒が増えれば、町の空き施設の利用による支援を検討する。



路面が痛んだ道路



みすはし 直行 議員

# 問 空き家対策は

## 答 法に則り進める

ば住宅用地特例の対象から除外された物件があるという事か。また、協議会設置がされていないということ。は空き家対策が進んでいないと感じるがいつ設置するのか。

### 再答弁【建設課長】

勧告は町条例で定められたものについて実施してきたもので、対象から除外された物件はない。今後は法に則り対応する。

協議会については、今年度中に設置する。

の保全等について必要な措置を講じているとは言いがたい。また、実際、生活道へ瓦が落ちたりしていると、

通行人にあたり、けがや最悪死亡事故にもつながりかねない。この状態を放置しているのはいかなるものか。

### 答弁【町長・建設課長】

①現在の空き家数、利用不可能な空き家について把握できてない。活用が不可能な対象物件については隣地に影響のない空き家も含まれているため危険建物に該当するか否か精査が必要と考えている。

②現在特定空家と認定している件数は無い。町協議会は設置してない。

③町民の情報により危険なものについては所有者に対

### 再質問【水橋議員】

勧告したとあるが、法に則った対応をしたのであれ



質問【水橋議員】  
空き家対策について大崎上島町空き家対策計画を基に対応していると思うが、危険建物について重点的に質問する。  
①計画の中に平成27年に空き家調査を行っているが現在、どうなっているか。  
②特定空家と認定している件数及び、町協議会の開催状況は。  
③今現在も生活道と隣接している空き家で倒壊しかねない建物が見受けられる。瓦が道路に落ちて地域の人が片付けている空き家があると聞く。町として、町民の生命・身体・財産の保護及び生活環境

して勧告等、文書を出したり直接出向いたりして説得し、ここ5年ほど10件ずつ解消しているが、非常に危険な家も増えてきて待たなしの状況になっているのは重々感じている。今後の対応はまず協議会を組織し、今まで住民からの情報を含め町道に隣接しているなどの危険な建物は法令等による手続により対処する。また、危険度が高いにもかかわらず所有者の責任において撤去されないものは所有者に関する情報調査、立入り調査等を行い、特定空家と認定し、法に則って対応する。





もりわか いわお  
森若 巖 議員

問

KK研究所に平成29年以降何件の入札があり何件の入札案内を出したのか

答

13件の入札があり、その内12件に案内を出している

舎改修工事は8社に入札案内を出し、概算見積金額544万円余をKK研究所が280万円で落札。沖浦消防屯所新築工事は5社に入札案内を出し概算見積金額587万円余をKK研究所が498万円で落札している。何か違和感がある。一概に言えないが、垂水消防屯所新築工事は他の業者が210万円で落札している。入札案内を5社でなく8社で執行していれば、落札金額は大きく減になったと思うが8社に入札案内を出す事が出来なかった理由は。

答弁【総務企画課長】

入札は13件で、その内12件KK研究所に出し6件落札。各業者の選定は指名業者選定委員会で、今までの実績を考慮して選定した結



問

工事発注費3,045万円は年間委託費か事業費ではないのか

答

年間委託費

質問【森若議員区】

00円で発注していると思う。令和元年度9月議会の教育課長の答弁でも㎡単価は2,000円くらいとの事。残りの約340万円はどこに消えたのか。また、

国語辞典によると、委託費とは自分の代わりに対価を決め支払って他の人に業務をお願いする事とある。3,045万円の委託費は令和元年度2年度の当初予算書の中に記載がない。な

という事は委託費でなく事業費ではないのか。仮に対価を払わず、当初予算の概算見積書作成を委託していたとすると、このような委託方法でいつ頃から行っていたのか。世間では物事を委託して、対価がただほど後々高くつくものはない。KK研究所が積算した大崎上島幼稚園増築及び改修工事における外壁塗装工事発注費が266㎡で394万円余。㎡単価14,827円。元請業者は私が施工業者に発注する㎡単価2,0



【森若議員】

指名競争入札委託料  
752万円余。随意契約分が2,292万円余。当初予算の概算金額資料の作成は、委託費は0円。

対価が0で物事を委託するとの事。このような変な事が行政の中では、当たり前なのか。それと、いつ頃からこのような委託方法を行っているのかの問いには答えがなかった。

問

設計管理での随意契約が出来る最高金額は

答

50万円

国土交通省（平成28年改定）随意契約には6つのパターンがあり、設計管理は次のどのパターンにあたるのか。

- ① 工事または製造の請負
  - ② 財産の買入れ
  - ③ 物件の借入れ
  - ④ 財産の売払い
  - ⑤ 物件の貸し付け
  - ⑥ それ以外のもの
- この6つのパターンの上限金額はいくらか。

件はいくらあるのか。

【森若議員】

- ①は130万円。
  - ②は80万円。
  - ③は40万円。
  - ④は30万円。
  - ⑤は30万円。
  - ⑥50万円である。
- 契約管理は⑥に該当する。
- 平成29年4月から令和2年3月末までの随意契約の件数は46件。KK研究所は44件契約を締結。

【森若議員】

数が多いためチェックもれが生じた。

【森若議員】

随意契約する場合でも複数の業者の見積書が必要で、その中で一番金額の低い額を提示した業者と契約すると思うが、令和元年度に随意契約した事業金額と、KK研究所が作成した概算見積金額と同額で、KK研究所と契約したのか。他の業者から相見積を取った結果こうなったのか。また、平成29年4月から令和元年3月末までに随意契約した案

令和元年度のいくつかの事業のKK研究所以外の見積書の提出を求め、手元にあるが、よほど慌てたのかその見積書には作成年月日がなく、同一人物の手書きになっている。大崎上島町では役所に提出する書類で、このように作成年月日がなくてもまかり通るのか。



## お知らせ

○本庁・各支所ロビーのテレビまたはインターネットで議会生中継がご覧いただけます。

※インターネットをご利用の場合はホームページの注目記事「○○議会ただいま生放送中」をクリックしていただければご覧いただけます。

議会傍聴をしてみませんか。

次回の定例会は**12月**です

日程は町内放送・ホームページでお知らせします。

# 総務福祉文教常任委員会報告

委員長：閑田大祐 副委員長：渡辺年範  
委員：越田賢一 道林清隆  
前田 太 水橋直行

大崎上島町議会6月定例会以降に開催した、委員会での主要な調査、協議事項及び、継続審議した内容と事業内容の審議について報告します。

## ○FTTH事業

町内全域に整備されているFTTH（光ファイバー網）は、民間事業者による参入が見込めず情報格差是正のため公設民営方式で平成15年4月よりスタートしました。

当時としては通信速度も速く、画期的な事業でしたが、近年は映像などの情報の大型化や利用者の増加にともない、通信が渋滞状態に陥ることが多くなっています。そんななか、コロナ禍で前倒しとなったオンライン授業やリモートワークなど、同時に多人数で利用する機会が増え、現状の設備では対応が難しくなっています。

現在のエネルギー・コミュニケーションズとのIRU契約は令和5年までで、

満了後は広島県のデジタルトランスフォーメーション推進チームに協力を依頼し、現在のユーザー回線速度100Mbpsから1Gbps（10倍）への更新を目指します。

また、令和5年までの当面の対策として設備増強を行い、現在発生している通信障害を解消する予定で、それにかかる費用8千5百万円はコロナ臨時交付金を活用するべく9月補正予算に計上されました。

## ○コロナ対策

コロナ感染症対策として執行、または執行予定の施策は35施策にのぼります。予算額は11億2千万円を超えますが、このほぼ全てが国費によって賄われます。



## ○ストックヤード建設

現在建設中の広島中央エコパークが令和3年10月から運用開始となることをうけ、現在の大崎上島環境センター内にごみ中継施設が建設されます。またこれにあわせて焼却施設は令和3年9月で運用を停止し、令和4年度中に解体する予定です。焼却施設解体後、跡地にストックヤードが建設されます。こちらは令和5年度中に完成する予定です。



完成予定図

## ○意見書

「地方財政の充実・強化を求める意見書」を審議し、全会一致で採択しました。



# 産業建設常任委員会報告

委員長：尾尻康二 副委員長：森若 巖  
委員：上青木至 信谷俊樹  
浜田明利 浜田幸造

令和2年6月定例会以降の委員会報告を行います。各課から9月定例会及び臨時会で議案となる主な条例案、補正予算案、繰越事業の進捗状況などの説明を受けて審議をしました。

## ○主な補正予算

### ・単県急傾斜地崩壊対策事業

同事業に関する2ヶ所（光禅寺地区、花條地区）の測量設計費で、予算額は1,002万円です。

### ・新型コロナウイルス感染症対策家賃支援給付金

令和2年2月～12月の間で1か月の売上高が30%以上減少している町内の法人及び個人事業主に対して、地代・家賃の支援給付を行います。予算額は500万円です。

### ・沖菅原親水公園浚渫工事

沖菅原親水公園に堆積した土砂から悪臭が発生しているため、浚渫工事を実施するもので、予算額は1,120万円です。

## ○高収益作物次期作支援交付金事業

新型コロナウイルス感染症の発生により売上が減少する等の影響を受けた高収益作物（野菜・花き・果樹・茶等）について、次期作に前向きに取り組む生産者を支援する農林水産省の事業です。申請者は198名、申請面積は143ha、申請額は7,865万円です。

交付金の単価は10a当たり5.5万円です。2年以上耕作をすること、土壌改良資材の投入や作業環境改善の取組等の対象となる取組を2項目以上することが条件です。

## ○大崎上島地域農業振興協議会の令和2年度の主な事業計画

・生産基盤の整備推進  
平坦農地の拡大、優良園地の利用集積、園地改良及び改植等  
・経営基盤の強化  
担い手農業者・新規就農者の育成、農地の

荒廃防止と保全、労働力確保対策  
・生産力の向上  
園内整備及び園地改良の推進、奨励品種の早期産地化

## ○大崎上島町プレミアム付商品券発行事業

現在、商品券は9千冊程度が販売されています。飲食券は4千冊が完売しています。今後、利用促進による経済効果が期待されます。

## ○放置自動車、バイク、自転車等の整理の進捗状況

放置自動車、バイクは、各駐輪場を点検し2年毎に撤去を進めています。放置自動車は、軽自動車検査協会及び中国運輸局広島運輸支局に所有者の照会を行い、17台に撤去警告書の貼り付けを行い、5台が移動されました。残り12台は、放置自動車対策審議会で廃物判定ができれば、処分する予定です。

## ○大崎上島町上下水道事業経営審議会

8月25日に第9回経営審議会を行い、水道料金、下水道使用料等の料金改定について協議が終了しました。  
10月1日に第10回の経営審議会を答申案を協議し、町長に答申を行う予定です。



白水港の放置自動車



# 追跡 あれからどうなった

(平成28年9月定例会一般質問から)

## 質問

レモンの島推進事業の現況は

## 回答

推進事業を強化する

## その後の経過

大崎上島町のレモン振興では、大崎東地区畑地帯総合整備事業により、令和元年度までに東原下と中野新開で新規就農者により約3ha植栽済みです。

今後、同地区で2.5haのレモン団地を整備予定です。

大串地区では平成29年度に1.3ha・平成30年度に1.3haのレモン団地を整備し植栽済みです。

また、ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社と公立大学法人県立広島大学と協定し「レモンで健康実現隊」を実施し、町民約550人の参加により健



康調査を実施しております。今後も地元と協議しながら農地の集積及び整備を進めます。

## 編集後記



新しい総理大臣が誕生しました。

コロナの終息は未だ見えず、多くの人々が諦めと割り切りで日々過ごしています。コロナ自粛から始まり、有名人の相次ぐ自殺、コロナ差別、不況による影響などマイナス要素ばかり気にかかる時代です。

子ども達はコロナ世代と呼ばれる、学校行事など規制され、取り戻す事の出来ない大切な時間を失いました。結果的に9ヵ月経った現在でも、目立った効果はあげられていません。GOTO〇〇キャンペーンなど経済回復を狙った施策はどうなるか? 懐疑的な見方をせざるを得ません。三密を避けて、近年まれにないキャンプームが到来しています。今までとスタイルが変わり、一人でするソロキャンプが大流行しています。しかし、

女子のソロキャンプは、野生の熊に襲われる事例やいろんなトラブルに巻き込まれるケースなど聞いています。

今年は秋の到来が早い気がします。実りの秋、美味しい食事で健康的な生活を、残り3ヵ月過ごしていきたいです。

令和の令が冷にならぬよう新総理に期待したいものです。

K・K



## 議会広報委員

委員長 閑田大祐  
副委員長 水橋直行  
委員 上青木至  
尾尻康二  
越田賢一  
森若 巖

## 大崎上島町議会

TEL(0846) 65-3130(直通)

FAX(0846) 65-3117

〒725-0231 広島県豊田郡大崎上島町東野6625-1

URL:<http://www.town.osakikamijima.hiroshima.jp/>